

製品名: サイクリン D2 (6E11) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03446**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 38 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCND2
別名	KIAK0002.
遺伝子 ID	894
SwissProt ID	P30279
免疫原	ヒトサイクリン D2 の組み換えタンパク質

背景

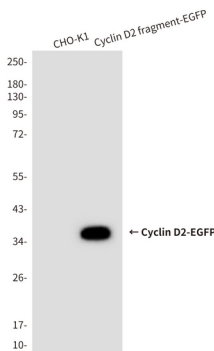
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通してタンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられます。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能します。異なるサイ

クリンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与します。このサイクリンは CDK4 または CDK6 と複合体を形成し、複合体の調節サブユニットとして機能します。その活性は細胞周期の G1/S 遷移に必要です。このタンパク質は、腫瘍抑制タンパク質 Rb と相互作用し、リン酸化に関与することが示されている。マウスにおける相同遺伝子のノックアウト研究では、この遺伝子が卵巣顆粒膜および生殖細胞の増殖に不可欠な役割を果たしていることが示唆されています。この遺伝子の高レベル発現は、卵巣腫瘍および小脳腫瘍で観察されました。この遺伝子の変異は、大脳多小回帰多指症水頭症症候群 3 (MPPH3) と関連しています。

研究分野

細胞生物学

画像データ



サイクリン D2 抗体を使用した、CHO-K1 溶解物およびサイクリン D2 フラグメント EGFP 融合タンパク質溶解物を導入した CHO-K1 中のサイクリン D2 のウエスタンブロット分析。